



「牛乳は水より安い」酪農家の言葉に商品開発を決意した。

宮崎を代表する特産品のマンゴーや日向夏などを使った土産やギフトを多数展開する株式会社響は、宮崎県産とひと目でわかる知事のイラストを使用して売上げを飛躍的に伸ばした。その実績により講演会などと呼ばれることも多いという岩切社長は、新富町に招かれた際に酪農家から質問を受ける。「次はどんな商品をつくりませんか？できれば県産牛乳を使った商品を開発してほしい。今、牛乳は水よりも安い。商品をつくってくれれば私たちの励みになる」。

岩切社長はその場で、いつか

必ずつくると約束。そのおよそ半年後、地元で牛乳を扱っている2社と連携し、宮崎県産牛乳の商品開発に着手した。

ミルクコーヒーの次はせんべいにまんじゅう。スピーディな商品展開。

最初に商品化した「みやざきミルクコーヒー」は、保存や賞味期限、コストなどの問題で牛乳の使用料は20%が限度となったが、脱脂粉乳は一切使用せずに商品化することができた。完成品の評判がよかったことから、県産牛乳を原料とした商品の第2弾を企画。宮崎銘菓「青島せんべい」で知られる日進堂と提携して「みやざきミルク

(上)「みやざきミルクコーヒーサンド」を製造しているのは、昭和24年創業の老舗菓子店「日進堂」の工場。
(中) 響が展開している商品の数々。鶏の炭火焼きや、みやざきラーメン、ドレッシングなど、現在約40種を販売。
(下) 商品のパッケージなどに使用している宮崎県知事のイラストと商標登録証。

コーヒーサンド」をつくり、さらに同社に依頼して、県産牛乳とマンゴー、日向夏をそれぞれ使った洋風まんじゅうを製造。「ミルクまんじゅう」と名付けて販売している。新富町の酪農家と約束を交わした約1年後には、4種類の商品が完成。宮崎土産として観光客の手に届くことになった。



最初につくったミルクコーヒーが好評を博し、ミルクコーヒーサンド、マンゴーミルクまんじゅうなど年間に4種の商品を展開。

[宮崎県・宮崎市]

宮崎県産牛乳100%を使った商品の開発事業

株式会社 響

Company Info.

宮崎の工場とコラボレーションし、「もっといいもの」をつくっていきたい。

平成6年麺製造業として宮崎麺工房響を創業。主にギフト用のラーメンの麺の製造販売を行う。平成12年に組織変更し、株式会社響となる。現在は宮崎県産にこだわった商品を、製造する工場とのコラボレーションで、極めてスピーディに展開。数々のヒット商品を世に送りだしている。また、すでに発売されている「辛子明太子鶏五目めしの具」など、他県の名産品と宮崎の素材を組合せた商品開発にも力を入れていく予定。ほか、ラーメン店や居酒屋など飲食店経営も行っている。



岩切邦光さん／代表取締役社長。酒造メーカー、実家のうどん屋を経て宮崎麺工房響を設立。太鼓の名手でもあり、和太鼓の製造や販売を行う「太鼓屋」も経営する。



○活用する地域資源：牛乳

酪農家と交わした約束を実現し、牛乳が原料の商品を続々展開。

現宮崎知事のイラストをパッケージにはじめて用いたことでも知られる株式会社響。宮崎県産の土産物を次々に展開してはヒットさせる会社社長が酪農家と交わした約束を実現するべく、宮崎県産牛乳100%の商品を企画開発。缶入りのミルクコーヒーをはじめ、現在は4種の商品を販売している。